

【写真】6月1日、陸上競技場において、第56回光陵中学校体育大会が開催されました。中学校生活最後となる3年生のリレーの様です。生徒のみなさんの力強い走りが印象的でした。

令和元年（2019年）6月20日発行
編集・発行 岩見沢市教育委員会
〒068-0024 岩見沢市4条西3丁目1番地
であえーる岩見沢4階

第 **44** 号

教育広報

いわみざわ市の教育

— 特集 —

「ふるさと教育」
推進月間がはじまります

- ・今年もやってます！英検学習会
- ・栄養マメ知識
- ・おすすめの一冊
- ・みんな知ってる？岩見沢市指定文化財

岩見沢市教育委員会 Facebook

市内の教育に関する行事の情報、市教委ホームページの更新情報などを発信していますので、ぜひ「いいね！」してください。
<http://www.facebook.com/edu.iwamizawa>



「ふるさと教育」 推進月間がはじまります

岩見沢市教育委員会では7月、8月を推進月間として、子どもたちがふるさとに愛着を持ち、岩見沢で生まれ育ったことを誇りに感じることでできる「ふるさと教育」に取り組めます。



各学校では教科や総合的な学習の時間等を使って、創意工夫し、ふるさと岩見沢をよく知ることをテーマに、新しい取り組みや既存の授業内容に「ふるさと教育」の視点を加えて実施いたします。

市内小中学校の特徴的な取り組みをご紹介します。

中央小学校では 3年生が「プロジェクト MIS0」として北村の農家さんにご協力をいただき、北村産の大豆を使った味噌づくりに挑戦するほか、5年生では「岩見沢を盛り上げ隊！」と題して、岩見沢青年会議所と連携し、昨年10月に初めて開催された「岩見沢まちあそび人生ゲーム」の企画に携わることで、岩見沢の商店街を巡り、地域のためにはたらく人々の思いや願いを知る授業を行います。

志文小学校では 2年生が近隣の商業施設にて売っているものや働く人たちの様子を見学するほか、3年生は隣接する原始の森についての歴史を学び、5年生は福祉施設に出向き介護体験を行います。

東光中学校では 市職員が講師となって市民憲章やまちづくりに関する講演会を全学年を対象として実施するほか、1年生の総合的な学習の時間を活用し、5月に日本遺産に認定された「炭鉄港」について、そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター職員の協力を得て、朝日炭鉱の鉱道入口跡などの旧跡を見学した後、過去と現在の岩見沢の街並みを比較するフィールドワークを実施する予定です。

その他の学校においても、「ふるさと教育」の観点から様々な教育活動が展開されます。

岩見沢市教育委員会でも、「ふるさと教育」にちなんだ事業を実施する予定ですのでご紹介いたします。

生涯学習・文化・スポーツ振興課では

アイヌ語で地名が名づけられた地域を巡り、アイヌの足跡をたどる「空知アイヌ語地名めぐり」という催しを例年開催しており、今年度は8月8日に松浦武四郎の記録を手掛かりに栗沢町栗丘から栗山町に向かいます。

岩見沢市郷土科学館では、市内小学校3年生の児童が社会科の授業で、展示を見学しながら岩見沢市の歴史を学んでいます。

今年度は「ふるさと」をテーマに、岩見沢ゆかりの文学者を題材にした企画展を秋に実施する予定です。



昨年実施された「空知アイヌ語地名めぐり」

図書館では 今年度から本格的に実施する「ライブラリーカフェ」にて、私たちのまち「いわみざわ」をテーマとし、岩見沢にまつわる取り組みや研究に携わっている方、まちの魅力を発信する方を講師として招き、カフェのようなゆったりとした雰囲気でお話ししていただく予定となっております。



3月に実施されたライブラリーカフェの様子

「ライブラリーカフェ」

開催時期：6月・9月・12月・3月（平日夜）
会場：岩見沢市立図書館 2階多目的ホール
開催日など詳細は広報いわみざわ、市ホームページをご覧ください。

緑陵高校 情報コミュニケーション科では、生徒たちが日頃気になっていることなどをテーマとし、4人から5人のグループで多種多様な内容で課題研究を行っています。

ふるさと岩見沢をよく知るために、今年度は、防災や岩見沢産の農産物を用いた研究、市が北大と協力して行っているCOIと一緒に研究を推進するなど、ふるさと岩見沢を深く知るための研究を実践いたします。

また、研究成果の発表機会として、12月14日にまなみーるで発表会を実施し、市民の皆さまに緑陵高校の生徒たちの研究内容を知っていただく機会も設けています。入場無料ですので、たくさんのご参加をお待ちしています。



例年実施している課題研究発表会の様子

今年もやっています！

英検学習会

英検学習会について

岩見沢市教育委員会では、グローバル化に対応した「英語が話せる岩見沢の子ども」の育成の一環として、英検学習会を開催しています。昨年度は5月と9月に開催し、40名を超える中学生の皆さんが参加しました。6月と9月に実施された英検3級の試験では、英検学習会受講者のうち15名の生徒が合格しました。



今年度の事業の状況



今年度の英検学習会は4月から募集を開始し、1次試験対策を4月22日（月）から5月17日（金）にかけて全7回開催しました。

英検3級のレベルは中学校卒業程度ですが、1・2年生の生徒も参加して、英語力向上への意識の高さを感じました。部活や学校行事等の忙しい合間をぬって、皆さんしっかり学習に取り組んでいました。

次回は8月下旬～9月の開催を予定し、学校を通じて7月頃に募集します。

英検学習会～基本情報～

英検3級対策のための学習会を年2回開催しています。（平成30年度～）



★対象★
市内中学生

★会場★
であえーる岩見沢会議室

★参加費★
無料
※別途テキスト代1,512円が必要になります。

★開催時期★
1次試験（筆記・リスニング試験）対策
第1回 4～5月、第2回 8～9月
2次試験（面接試験）対策
1次試験通過後随時
（各中学校にてALTと実施）

【お問合せ先】
教育委員会 指導室
電話 0126-35-5127

おいしい！食 べるよろこび

栄養マメ知識

健康なカラダを保つために

岩見沢市立学校給食共同調理所で働く栄養教諭がアドバイスします。



「運動をする人に大切なエネルギー源 ～主食～」

運動をしている子どもは、成長のためだけではなく運動をする分、エネルギーを多くとる必要があります。そのエネルギーの供給源となるのが主食です。

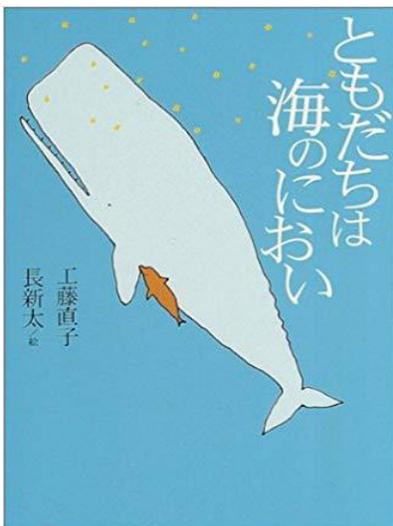
トレーニングの3～4時間前に米やパン、麺類などの主食を中心とした食事を取りましょう。主食の炭水化物が不足すると、疲れがとれない、筋肉が落ちやすくなるなど体に不調が表れてきます。また、主食は「体のエネルギー源」になるだけではなく、「脳のエネルギー源」にもなるので、頭の働きが鈍くなり瞬時の判断力や集中力が欠け、ミスやけがをしやすくなります。トレーニング後は、消費したエネルギーを補うために、おにぎりなどを食べると疲労回復にもつながり、効率よく体づくりができます。



読んでみませんか？

「おすすめの一冊」 ～ 岩見沢市立図書館から ～

岩見沢市立図書館にある本の中でおすすめの本を紹介していきます。



作：工藤 直子
絵：長 新太

「ともだちは海のおい」

あらすじ

星がきれいな夜、静かな夜の海で、いるかとくじらが出会い、仲良くなります。お茶と体操が好きないるか、ビールと読書が好きなくじら。趣味や性格は違うけれど、2人(?)は大切な友人に。海に住む2人の日常は、わたしたちと似ているけれど、ちょっと違う。お茶会をしたり、一緒に遊んだり、時には人魚に会いに行ったり…。

ユーモアにあふれる友情の日々が、読み手の心も和らげてくれるよう。詩とお話で綴られる、すてきな海のオムニバスです。

みんな知ってる？

岩見沢市指定文化財シリーズ①

～鎌倉時代までさかのぼる！？

大願寺阿弥陀如来立像～

岩見沢市教育委員会では、文化遺産の保護を主な目的として、昭和42年に文化財保護委員会を立ち上げ、様々な文化遺産の調査を行っています。

現在までに7つの文化遺産が市の指定文化財となり、どの文化財も大変貴重で意義のあるものばかりです。今後、順次ご紹介してまいります。

初回は、平成3年に文化財に指定された大願寺の阿弥陀如来をご紹介します。



大願寺阿弥陀如来立像
(全長 82.1cm)



仏像の拝観が可能です。
拝観を希望される方は、大願寺
までお問合せください。

北海道岩見沢市大願町 131

成就山大願寺

電話 0126-25-0625

～大願寺阿弥陀如来立像の来歴～

大正2年に岩見沢へ入植した川合清巖氏が説教所を開設し、5年後に「成就山 大願寺」となりました。

大正8年、御本尊が掛軸であることを心苦しく思っていた大願寺総代長の星野松太郎氏が、自らの財産を京都の本山に寄付。大願寺の御本尊として、本山より阿弥陀如来立像が与えられました。

昭和27年、十勝沖地震で仏像の頭部が破損、落下した際に仏像内部が空洞になっていることが明らかとなり、内部から「南無阿弥陀仏」と墨書された多量の菩提樹の葉と「寛文8年6月」「江戸本通り 施主 石原藤兵衛」と書かれた麻袋が発見されました。このことから、当時、この仏像は江戸時代に造像されたものと推測されました。麻袋にはメノウ、ヒスイ、水晶の三宝が入った鉛の缶も収められていました。

平成元年、市内の仏像調査を始めた市文化財保護委員会が、御本尊の来歴を詳しく調査するため、2人の専門家に鑑定を依頼したところ、仏像衣装の皺（しわ）や彫法から鎌倉時代のものと推定されました。

また、両眼と頸部の改変、一部彫り直しが認められることから、麻袋に記載があった石原藤兵衛という人物が、仏師に依頼して江戸時代の寛文8年（1668年）に仏像の修復を行った可能性が高まりました。

仏像の造像年代が古く、胎内には仏像の成り立ちや改変の経緯を物語るにふさわしい貴重な資料が残されていたことから、文化遺産として評価が高く、平成3年に岩見沢市指定文化財に認定されました。

【お問合せ先】

教育委員会生涯学習・文化・スポーツ振興課 電話 0126-35-5129